

イーヌブーを活用した 環境学習はじまる



発行者
NPO 法人いけま福
社支援センター
電話：75-2870



12月19日、浚渫作業によって水面が開けたイーヌブーのほとりにて、池間小の特別野外授業が行われました。この授業は、池間小5・6年生を対象として、池間湿原のこれまでの環境の変化を知り、実際に水質調査を行ってイーヌブーの環境に興味を持ってもらうことを目標に行われたもの



です。講師は、與那嶺大さんと、玉野コンサルタントの江田佳那子さん。與那嶺さんが、昔のイーヌブーの写真を使って、かつてのイーヌブーが島民の大切な食糧庫であり、子供たちの遊び場だったことなどを紹介しました。続いて、淡水化して久しいイーヌブーをなんとかしようと、現在取り組まれている「過疎集落等自立再生対策事業」について江田さんが紹介し、水草を取り除いて水面を広げたり、観光資源としての活用方法の検討などを行っていることを伝えました。その後、イーヌブーの浚渫工事を担った宮島建設より、水質調査機器一式が池間小学校に贈呈され、子供たちはさっそく調査機器を使ってイーヌブーの水質調査に取り組みました。水の透視度、温度、pH、硝酸態窒素、全リン、COD、

溶存酸素量の値を、専用の試薬や道具を使って調べ、記録していきます。科学実験のような手順に子供たちも興味深々でした。イーヌブーを今後どのような姿で残していくのか、どのように活用したいかということは、大人たちだけでなく、島の子どもたちも一緒に考えていかなくてはならない大きな課題です。池間小中学校では、今後も地域と連携しながら定期的にイーヌブーの水質調査を続けていくことで、イーヌブーにかかわる機会を増やし、授業の中でもイーヌブーを活用できるようにしていきたいとのことです。



池間大橋開通記念植樹

〜第5回つむばな・すまばな・うぐな〜

うぐな〜いば〜開催のお知らせ

2012年、「つむばな・すまばな・うぐな〜いば」と題して、池間漁港周辺の植栽マスをユナギーやアカバナ、マリーゴールドの苗を植えつける大規模なイベントが開催されました。あれから3年が経過し、植え付けたユナギーなどの樹木はしっかりと根付いて成長してきています。そこで、漁港周辺の緑をより豊かにするため第5回目の「つむばな〜」イベントを開催する運びとなりました。

池間大橋開通23周年を記念して、島の玄関口である池間漁港周辺に記念植樹を実施します。アラッシュユキ(モンパノキ)とヤラブ(テリハボク)、アカバナなどを合計1000本植樹します。植樹の後は、豚の味噌煮などの炊き出しも予定しています。ぜひふるってご参加ください。

池間大橋開通記念植樹

日にち:2月14日(土)
時間:10時~12時
池間小中学校向かいに集合してください



シマ学校〜ウツマミの脱穀〜

12月13日(土)、第8回

目となるシマ学校が開講しました。池間島で戦前から栽培されていた「ウツマミ(下大豆)」を収穫し、昔ながらの方法で脱穀に挑戦しました。講師は、前泊勤さんです。豆をたたく「マミツタツバウ」もお借りして、子供たちも一緒に脱穀を体験しました。

また、池間島では、大正5年頃まで、冬の寒い時期に「サニンの葉に包んだキビ団子」を子ども達に作って食べさせ、無病を願う風習があったそうです。与那原キクさんを講師に、このサニンの葉餅づくりにも挑戦しました。モチキビ、イモ、黒糖を入れたサニンの葉餅は子どもたちにも好評でした。



新春マラソン大会開催

12月24日、クリスマススイブに恒例となってきた「池間島歌謡ショー」が開催されました。今年で3回目となる歌謡ショーには、27組の歌い手が参加。自慢の歌声を披露しました。

1月2日、暖かな陽気の中、池間学区体育協会主催の新春マラソン大会が開催されました。水浜広場からスタートして集落内を回る約1.5キロのコースを、子どもからお年寄りまで数十名が快走しました。抽選大会では、自転車などの豪華賞品が用意されました。

今月の予定

- 1月21日(水) スマフサラ
- 1月24日(土) 全宮古小学校 駅伝大会
- 1月25日(日) 15時〜島おこしの会報告会@池間公民館にて
- 1月27日(火) 14時〜シマ学校
- 1月31日(土) 伊良部大橋開通記念式典
- 2月1日(日) 池間幼稚小 持久走大会&駅伝大会
- 2月14日(土) 10時〜 池間大橋開通23周年記念植樹
- 2月19日(木) 旧正月

